

■米国：カリフォルニア州、RPS100%目標法案が議会通过せず

2017年9月19日付の専門誌によると、再生可能エネルギーの導入を積極的に推進しているカリフォルニア州は、今年の議会に「2045年再エネ導入100%」を提案する法案(SB100)を提出したが、議会審議を通過せず2017年9月15日に議会が終了した。今年の議会ではSB100とともに、カリフォルニア州の電力市場を周辺の州と統合する法案(AB726とAB813)も審議されていたが、同じく議会を通過することはできなかった。再エネ導入が進むカリフォルニア州では太陽光発電の導入量が拡大し、好天時には電力価格がマイナスになるネガティブプライスが出現するため、電力市場を周辺と統合することでカリフォルニア州の太陽光発電の電力を周辺に輸出し、不安定な再エネ電力の管理を容易にすることをめざしていた。これらの法案の審議は来年以降に行われることになる。